

キャンパス名	千葉キャンパス				
授業番号	10122001				
授業名	仏教福祉論	形態	講義	単位	2
担当教員	藤森 雄介				
開講学期	2024年度 前学期	曜日・時限	水曜5限		
授業目的	我が国の社会福祉にしろる仏教福祉の総合的理解。本学でソーシャルワークを学ぶものとして必要な基礎力としての、対人援助場面における仏教的視点の習得。				
授業内容	そもそも社会福祉の思想や実践の歴史的展開を学ぶにあたっては、「宗教」との関連を抜きに語ることができないことは、洋の東西に関わらない事実である。その前提に立って我が国の社会福祉をその歴史的展開過程から理解しようとするならば、仏教者の関わる福祉実践（いわゆる「仏教福祉」）を学ぶ必要があることに多くの説明を加える必要はないであろう。本科目では、先述の前提に立ち、我が国の社会福祉をその本質から理解していく上で必要不可欠な「仏教福祉」について、社会福祉と仏教福祉の思想的理論的な視点からの理解、仏教者による社会福祉実践の諸相、社会福祉の今日的課題に対する仏教福祉の果たすべき役割、といった複数の領域を取りあげることにより、「仏教福祉」の基本を正しく理解していく機会とする。				
到達目標	我が国の社会福祉にしろる仏教福祉を、理論的思想的視点に基づいた歴史的展開を学ぶことと合わせて、今日的課題と役割の理解を深める。				
ディプロマポリシーとの関連性	<社DP2-(1)> 社会福祉学やソーシャルワークに関する基本的かつ体系的な知識を身に付けている。				
授業形態	基本的には講義形式で実施するが、講義中に取り上げる経典については、まずその引用部分を声に出して読み、その上でどのような内容が説かれているのかを考えて、その意見交換(アクティブラーニング)をしてから具体的な内容理解に入って行く。				
事前・事後学習の所要時間	本科目では、各授業回に2時間の事前学習、2時間の事後学習を必要とする。 合計15回の授業で、事前事後学習60時間となる。				
テキスト	※この科目では指定の教科書はありません。授業内で使用する資料等については、別途授業内でご案内いたします。				
評価方法	評価方法 確認テスト(50点)・授業中の小レポート(計20点)・小テスト(5点×6回=30点)から総合的に評価する。 なお、小レポートは、講義内容の区切りに応じて、2回程度を予定。				
評価基準	評価基準 確認テスト、50点、試験・授業中の課題小レポート計20点。小テスト計30点。				
試験・レポート等のフィードバック	レポートについては提出後のその出題意図を解説、また確認テストについてはテスト終了後、別途振り返りの時間を設ける。				
注意事項及び履修条件	本科目は社会福祉士受験科目ではないが、本学で社会福祉を学ぶものについては必須の知識を学ぶことが出来る科目である、主体的な学習意欲のある者の受講を期待する。				
S : 100～90、A : 89～80、B : 79～70、C : 69～60、D : 60未満					
第1回					
事前学習	事前にウェブ上に公開されているシラバス内容に目を通しておく。				
授業内容	授業内容 本科目の講義の進め方、評価の方法、各回のシラバス確認等を行う。				
事後学習	必ずしもテキストの章順に講義が進行するわけではないので、ガイダンスの説明に合わせて各回と使用テキストの該当箇所を確認しておく。				
参考文献					
第2回					
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単に良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。				
授業内容	基本的知識の共有 (1) 本科目を学ぶにあたって大前提となる、「自然科学」・「社会科学」・「人文科学」の基本的な理解をする。				
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。				
参考文献					
第3回					
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単に良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。				
授業内容	基本的知識の共有 (2) 学問分野のうち、「社会科学」としての社会福祉と「人文科学」としての仏教の特徴と、その融合としての「仏教福祉」又は「仏教社会福祉」とは何かについて、理解を深める。				
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。				

参考文献	
第4回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	基本的知識の共有 (3) 「政教分離」という考え方について、各国の社会と宗教に対する向き合い方と日本の特質について、理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	
第5回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (1) 数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「スッタニパータ」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	
第6回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (2) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「ジャータカ」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	
第7回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (3) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「ダンマパダ」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	
第8回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (4) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「善生經」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	
第9回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (5) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「遊行經」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	
第10回	

事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (6) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「諸徳福田経」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	

第11回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (7) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「維摩経」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	

第12回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (8) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「法華経」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	

第13回	
事前学習	前回の内容を再度確認しておく。また、下記の「授業内容」を読み、各人物について、簡単で良いので事前の知識を整理しておく。なお、事前に配布した「仏教経典」に関しては、講義中、受講生に該当箇所を「音読」してもらおう場合があるので、しっかりと目を通し、読めない専門用語等がないようにしておく。また「わからない箇所」も予め確認して、講義中に質問できるようにしておくこと。
授業内容	仏教経典にみられる福祉の視点 (9) 引き続き数ある仏教経典のうち、最もポピュラーに原始仏典の一つ、「無量寿経」について、その該当箇所を音読するとともに、その要点を理解を深める。
事後学習	講義内容を踏まえて、①重要項目の整理、②その中で理解できたこと、③充分には理解できなかったこと、を分けて整理する。その上で、特に③充分に理解できなかったことについては、どの部分が分からなかったのかを自分なりに明らかにして、次回の講義の開始前に質問するように準備しておくこと。
参考文献	

第14回	
事前学習	これまでの講義の内容を再度確認を行い、確認テストに備える。
授業内容	確認テストの実施
事後学習	確認テストの内容を振り返っておく。
参考文献	

第15回	
事前学習	確認テストの内容を踏まえつつ、講義内容全体に目を通しておく。
授業内容	まとめ・確認テストの解説。 これまでの講義のまとめとして、確認テストの解説を行う。 欠席者に対する追加の確認テスト等は、原則として実施しない。
事後学習	確認テストで解説内容を手掛かりに、各自で振り返りを行う。
参考文献	

※この他に試験が実施される場合があります。担当教員の指示に従ってください。

ディプロマポリシー	<社DP-2> 【社会福祉学分野における知識・技能・態度】 社会福祉学に関する価値、倫理、理論、方法を体系的に理解しそこから培われる福祉マインドを持って、さまざまな実践の場で活用する技能・能力を身に付けている。 <社DP2-(1)> 社会福祉学やソーシャルワークに関する基本的かつ体系的な知識を身に付けている。 <社DP2-(2)> 社会福祉の専門職(社会福祉士等)に足る社会福祉の知識と福祉マインドを持って、社会福祉をはじめ幅広い分野で活躍する意欲と能力を身に付けている。
-----------	---